



さて、まずバルーンを適切なサイズに調整しようか。
だいたい直径6、7センチくらいか…

先生、どう考えても適切なサイズじゃないっす…

排尿の機能は考慮してないし、する必要もないからね。
部品がハマればそれでいいのさ。





ピン

プ

プ

ふむ、まだ少し大きすぎるな…
中を少し確認してみようかね。



トコロー

アハアハ

チヤッ

どれ、社会の窓から腹内^{なか}を覗いてみようかね。
あゝ、このジツパー、デザインの秀逸気だけじゃなくて実用性も兼ねてたんスね！

MATHNA

アハハハ

アハハハ

もちろんさ、私のアートには機能性も重要だからね！
それはそうと、中身を挟まないように気をつけねば！
皮を挟むと痛いっすからね……内臓なんて死んでも
挟みたくないっす。

アハハハ

MATHNA

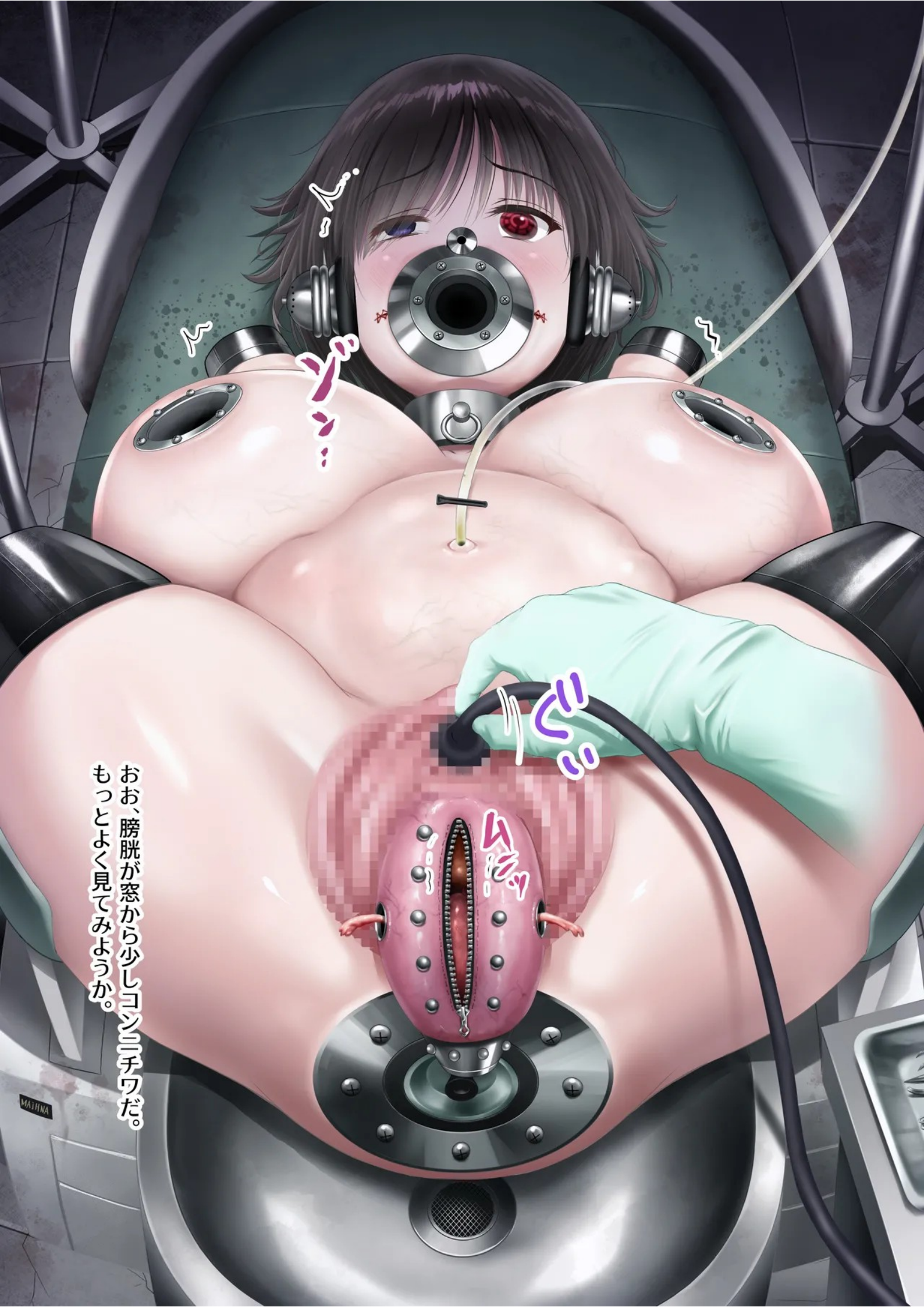


トコロー

チャック

よし、子宮をチャックに挟まずに済んだね！
では膀胱の状態を確認しよう。

MATHNA



おお、膀胱が窓から少しコンニチワだ。
もっとよく見てみようか。



アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

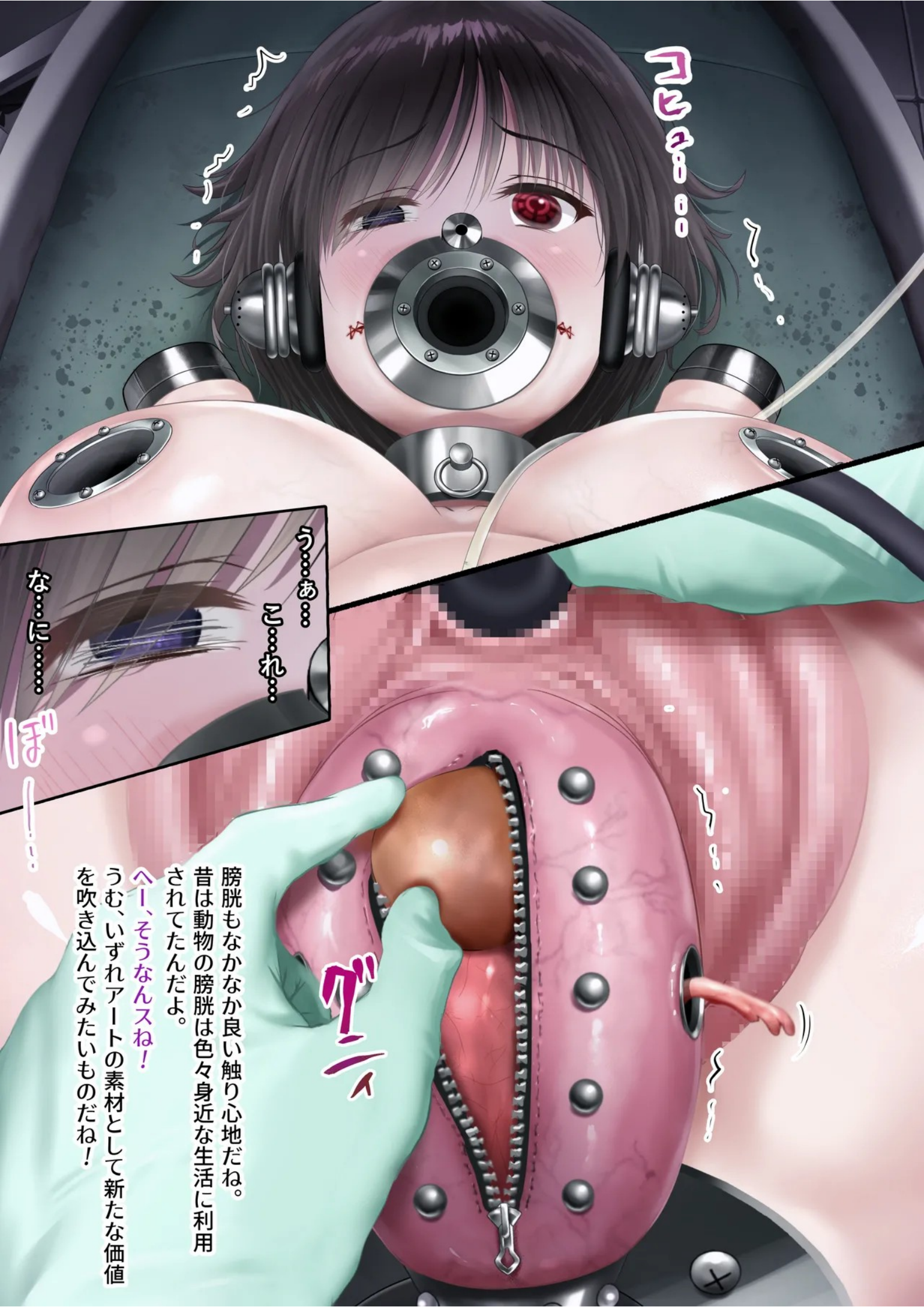
アッ
アッ
アッ

モッ

ガイッ

ほんの一部だけ露出出来たが、思ったよりまだ
大きいな。
うわあ…こんな感じになってるんスね…

MATHNA



フムフムフム

フムフムフム



なに……

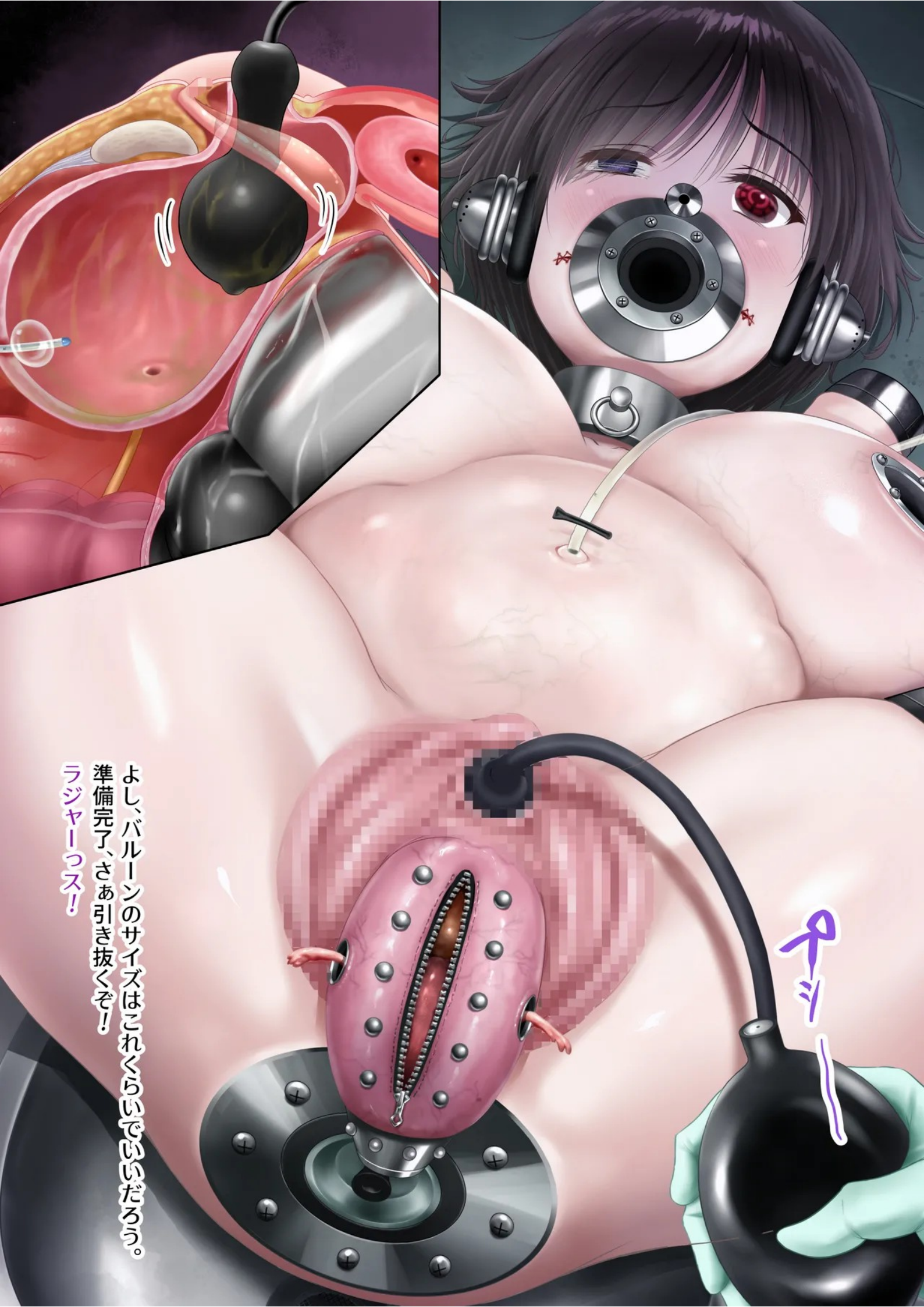
フムフムフム
フムフムフム

フムフム

フムフムフム

グニ

膀胱もなかなか良い触り心地だね。
昔は動物の膀胱は色々身近な生活に利用
されてたんだよ。
へー、そうなんスね！
うむ、いずれアートの素材として新たな価値
を吹き込んでみたいものだね！



よし、バルーンのサイズはこれくらいならいいだろう。
準備完了、さあ引き抜くぞ！
ラジャーっス！